

むくのきだより 9月号



令和5年8月31日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子

2学期のスタート ～子供たちが育つ環境を整えて～

園長 中村 美奈子

記録的な暑さが続いた夏休み。どのようにお過ごしでしたか？赤羽幼稚園では、2学期に備えて、園庭の改修工事を行いました。まず、園庭への階段の段差が大きいので、中央に手すりを設置し、安全に上り下りができるようにしました。また、9月も陽射しが厳しい日が予想されるので、日よけを付けるポールを設置しました。そして、子供たちが大切に育てているカメのリコくとザリガニのにつちゃんとモルモットのモルくんは、教員が交代で世話をし、みんなの元気な笑顔が戻ってくるのを待っていました。

先日、脳科学者の茂木健一郎さんの講演会に参加しました。その中で、これからの子供に身に付けさせるのは知識の量ではなく、『好奇心』であるというお話がありました。子供自身が幸せと感じる安心できる場所で、好奇心をもって様々なことに挑戦し、親や周囲の大人などに褒められながら自分の成長を体感することで、さらに自分自身の力で成長していくということでした。

また、幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中にも『好奇心』という言葉が出てきます。それは、「自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にす気持ちをもって関わるようになる。」という内容です。

つまり、幼児期に『好奇心』を抱かせる活動をたっぷり味わわせることが、その後の子供たちの様々な面での成長につながります。赤羽幼稚園では、安全・安心に過ごせる環境づくりをするとともに、子供たちの『好奇心』を喚起する活動を工夫していきます。

